

No. 1361

氷上に競う

— 第1回中部日本スケート選手権 —

三重県湯の山国際スケートセンターで開れた第1回中部日本フリースケート選手権大会。中部各県から参加した80人の選手が次々に華麗な演技を披露。特に小学生の部に参加した各選手のかわいい演技にはつめかけた観衆からさかんな拍手が送られていました。途中から小雨の舞うあいにくのコンディション、それでも選手たちは音楽に合わせて、いっしょうけんめい。元気いっぱい銀盤に舞う選手たちのなかから未来のオリンピック選手も夢ではなさそうです。

異常人気の親善使節

— 東京・上野 —

1月29日、中国から来日した親善使節ホアンホアン。新しいカンカンのお嫁さんですがカンカンはほとんど興味を示さず一日中、部屋のなかで寝たり起きたり。ホアンホアンもなかなか日本に馴染めず入口で様子をうかがうばかり。2月10日はホアンホアンが一般公開されて最初の日曜日。9時30分動物園開園と同時に通称パンダトンネル目がけてチビッ子が殺到。ガラス越しにパンダを見られる時間は1分足らず。この日いつもの日曜日の2倍を越す12万人が押しかけた。ホアンホアンの来日でさらにパンダ人気は高まり上野の町も熱烈歓迎。このパンダ人気にあやかって早くもいろいろ商品が登場しました。動くパンダの人形は子供たちの人気を集めていました。あるデパートでは神主さんと呼んでカンカン、ホアンホアンの結婚祈願。参列者は大人も子供も大まじめ。果して願いどおりにいきますかどうか。春近い上野の町はパンダ一色です。

進むフートピア計画

— 千葉・白子 —

潮風を切って風車が回る。九十九里浜に近い千葉県長生郡白子に住む加藤博さん。省エネ時代には風車が一番良いと風車の研究を続けてきた。平均風速4メートル以下の関東地方では、どうしても微風で回る風車が必要だ。そこで開発されたのが、「ゼファー型発電風車」。「ゼファー」とは英語でやわらかい風という意味。つまり、少しの風で風車が回り、発電させることができる。風が強すぎると羽根を守るために自動的に羽根がしぼむ。傘と同じ理屈である。この風車で月150キロワットがまかなえ、電気ゴタツやテレビももちろん風車のおかげ。実用化も進んでいる。この用水風車は1時間に2トンの地下水をくみあげている。手作り風車でエネルギーを自給する加藤さん。要は省エネを心掛けるチョットした工夫が大切だという。